

News 看護部ニュースNo.7

看護部ニュース 令和6年12月発行
西病棟2階 重症心身障害児(者)病棟

学会発表してきました！

こんにちは。西病棟2階です。
今年も残すところ、あとわずかとなりました。今年は、夏の暑さが長く続いたあと、急に寒くなってしまったので、あまり秋らしさを感じることができませんでしたね。10月・11月は学会シーズン。今年度は、国立病院総合医学会で3題、重症心身障害学会学術集会で3題の計6題、学会発表を行いました。
4月から、この学会に向けて6名のスタッフが準備を進めてきました。実践したことを言葉で表現する難しさや、プレゼンテーション資料を見やすくわかりやすくする難しさとの戦いでした。本番は、大勢の聴衆に圧倒されドキドキしながらも、胸を張って発表することができ、大きな実りとなりました。
今回の学びを糧に、今後もさらにより良い看護が提供できるよう邁進していきます。

今年度の発表演題のご紹介

国立病院総合医学会（10月18日・19日 グランキューブ大阪）

1. 注入作成時間の短縮の取り組み～直接的ケア時間の確保～
2. 耳介に褥瘡を繰り返す重症心身障害児（者）患者の看護ケア
3. 中途障害の患児を持つ母親の受容段階の援助～フィンクの危機モデルを用いた一考察～

重症心身障害学会学術集会（11月7日・8日 神戸国際ホール）

1. 重症心身障害児・者病棟における食事時のポジショニングシートの検討
2. 重症心身障害児の非侵襲的陽圧換気（NPPV）マスク装着に対するスキンケアの検討
3. 気管切開を行っている重症心身障害児の摂食機能獲得に向けた多職種連携



minanikyoto.hospital